

現場作業で新型コロナウイルス感染しないためには

換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声する密接場面の「3密」が重ならない対策を取ることが基本となります。

既に、各作業現場においては実施されているとは思いますが、下記に示す対策のさらなる徹底をお願いします。

コロナウイルスとの戦いは長期化が予想されます。会員の総意で勝ち抜きましょう

- ① 酸欠の予防も兼ねて、入坑前・作業中の換気を徹底する。
- ② 咳エチケット（マスクの着用）の徹底。
- ③ こまめな手洗い等の徹底（アルコール消毒液を出来る限り配備する。特に飲食の前。

手洗い前に直接素手でおにぎりやパンなどを口にしない。）

- ④ 出勤前に検温する。（自分の平熱を知っていい方が良い。）

入社時に、全員の日々の体調（風邪症状や発熱の有無等）の確認をする

原則として、風症状等出た場合は、「出勤しない・させない」を徹底する

- ⑤ 日々の安全作業打ち合わせ、KY活動などは短時間で距離を保って実施する。
- ⑥ 長時間の時間外労働を避けるなど、疲労が蓄積しないよう配慮する

労働安全担当顧問 内山 秀明